

Sora 2問題に関する包括的分析レポート: AI開発と世界的著作権の地殻変動

Gemini

1. エグゼクティブ・サマリー: 世界的著作権の転換点としての「Sora 2問題」

2025年9月下旬にOpenAIが発表した動画生成AI「Sora 2」は、その技術的飛躍性とともに、AI開発における著作権と知的財産(IP)の取り扱いに関する世界的な議論を爆発的に加速させた。本レポートは、この「Sora 2問題」の全容を、法的、技術的、経済的、そして国際政治的な観点から多角的に分析するものである。

本問題の核心は、Sora 2の技術的進歩(物理シミュレーションと音声同期)¹ そのものにあるのではなく、OpenAIが採用した「オプトアウト(権利者が事後的に除外を申請する)」というビジネスモデル³と、日本および欧州のコンテンツ産業が依拠する「オプトイン(事業者が事前に許諾を得る)」という法的・倫理的原則³との間の、構造的かつ必然的な衝突にある。

特にOpenAIは、米国の主要IP(ディズニー等)を事前ブロックする一方で、日本のアニメIPをブロックしなかった「二重基準」とも取れる非対称な対応³を行った。これはOpenAIの重大な戦略的誤算であり、世界有数のIP大国である日本において、政府³とコンテンツ産業界(CODA、出版社、日本動画協会など)³による迅速かつ統一された強硬な抵抗を招く直接的な引き金となった。

OpenAIのサム・アルトマンCEOによる迅速な方針転換の表明(オプトインに近い方式と収益分配の導入)⁹に対しても、日本産業界はそれを「企業としての正式な方針か確認できない」³とし、法的拘束力のある対応と学習データの透明化を要求し続けている。

Sora 2問題は、AI開発者がインターネット上のデータを「公正利用(Fair Use)」の名の下に無許諾で学習(スクレイピング)してきた従来の開発モデルの限界を露呈させた。本件は、EU AI法による透明性義務の強化¹⁰と相まって、AIの学習データに関するグローバルなライセンス・フレームワークの構築を迫る、世界的な転換点として記録されることになるだろう。

2. Sora 2の技術的パラダイムシフト: 単なる動画生成を超えて

Sora 2が引き起こした混乱の規模を理解するためには、まず、その技術が従来のAIとどう一線を画すのかを正確に把握する必要がある。

2.1. Sora 1からの飛躍: 物理シミュレーションと音声同期

Sora 2は、OpenAIが2025年9月30日に発表した最先端の動画・音声生成モデルである¹。これは、2024年12月に限定的にリリースされた前モデル「Sora 1」⁴を大幅に凌駕するものであった。

Sora 1が示した能力(当時としては革新的であったが、物理的な不自然さや音声の欠如が指摘されていた)に対し、Sora 2は以下の決定的な進歩を遂げている。

1. 物理法則の忠実な再現: 物体がどのように動き、相互作用するかという物理法則をより正確にシミュレートする¹。例えば、バスケットボールがゴールを外れた際にバックボードに当たって跳ね返るなど、現実世界の力学に基づいた「説得力のある」動きを生成できる²。
2. 音声の同期生成: 最大の飛躍は、映像と完全に同期した対話(リップシンク)、効果音、環境音を同時に生成できる点である¹。Sora 1が「サイレント映画」であったとすれば、Sora 2は「トーキー」であり、映像のリアリズムを飛躍的に高めた。
3. 品質と一貫性の向上: より高解像度(1080p)で長尺(最大10秒程度)の動画を生成可能にし²、複数のショット(カット)間でキャラクターの服装や背景の状況(例:床にこぼれた水)の一貫性を維持する「世界状態(world state)」の追跡能力が向上した¹⁴。

2.2. 「世界シミュレーター」としての本質と著作権上の意味

Sora 2の技術的な本質は、単なる「2Dビデオジェネレーター」ではなく、膨大な動画データから「物理エンジン」や「世界モデル」を暗黙的に学習(implicitly learns a physics engine)する能力にある¹⁶。これは、テキストプロンプトをピクセルに変換するだけでなく、そのプロンプトが記述する「世界」のルールをシミュレートし、その結果を「録画」するようなプロセスである¹⁶。

この「世界シミュレーター」としての能力こそが、Sora 2を著作権上、極めて深刻な問題たらしめている。Sora 2は、単に既存の画像を切り貼り(コラージュ)するのでもなければ、特定のスタイルを「模倣」するのでもない。それは、特定のクリエイティブ・ユニバース(例えば、スタジオジブリ作品の色彩感覚、物理法則、キャラクターの動きの「クセ」など¹⁷)の根本的な「ルール」や「文法」そのものを学習

し、再現してしまうからである¹⁶。

この能力は、技術的な成果であると同時に、経済的な脅威の源泉となる。なぜなら、Sora 2の生成物は、単なる「パロディ」や「派生物」の域を超えて、オリジナルの市場と直接競合し、それを食い荒らす「代替物」となり得るからである。忠実な物理シミュレーション²と音声の同期¹は、アニメーター¹⁸や俳優¹⁹といった専門職の「職能」そのものを代替可能にするインパクトを持つ。

3. 発端:「Sora 2ショック」と日本市場の炎上(2025年9月30日～10月10日)

Sora 2のリリースは、特に日本市場において、技術的な驚嘆よりも深刻な著作権侵害への懸念と、OpenAIに対する強い不信感を即座に引き起こした。

3.1. 日本IPの無差別生成と「二重基準」疑惑

2025年9月30日のSora 2の一般公開(当初は招待制)直後から、X(旧Twitter)をはじめとするソーシャルメディア上には、日本の著名なIP(知的財産)に酷似した動画が溢れかえった³。『鬼滅の刃』、『ポケットモンスター』、『ドラゴンボール』、『ワンピース』といった人気アニメや、スタジオジブリ作品の画風を忠実に再現した動画が大量に生成・投稿されたのである³。

問題は、その一方で、ディズニー(ミッキーマウスなど)やマーベル(スーパーマンなど)といった米国的主要IPは、プロンプトに入力してもブロックされ、生成できない仕様になっていることが判明した点である³。

この非対称な対応は、日本国内で「日本のコンテンツは足元を見られているのではないか」「なぜディズニーやマーベルは保護され、日本のアニメは無防備なのか」⁶という、「二重基準」(Double Standard)に対する強い不満と疑惑を噴出させた。

3.2. OpenAIの初期方針:「オプトアウト」モデルの法的問題

この「二重基準」疑惑の背景にあったのが、OpenAIの著作権に対する基本方針であった。Sora 2のリリース直前、The Wall Street Journal(9月29日付)は、Sora 2が「著作権者がオプトアウト(除外)

を申請しない限り、著作物を含む動画を生成できる仕様」であると報じた³。OpenAIは一部のスタジオやタレント事務所に対し、公開前にオプトアウト手続きの通知を送っていたとされる³。

この「オプトアウト(事後申請)」モデルは、著作物の利用には「原則として事前の許諾が必要」³とする、日本の著作権法³や、大陸法体系に基づく多くの国の法的枠組みと根本的に対立するものであった。

3.3. 日本政府の迅速な介入

SNSでの炎上と、この明白な「二重基準」疑惑³に対し、日本政府は異例の速さで介入した。

2025年10月10日、城内実内閣府特命担当大臣(当時)は、OpenAIに対し、著作権侵害行為を行わないよう要請したと記者会見で発表した³。また、木内実・知的財産戦略担当大臣も、内閣府の知的財産戦略推進事務局を通じてOpenAIに公式な要請を行ったことを明らかにした⁸。

木内大臣は「アニメや漫画は、世界に誇るかけがえのない宝だ」と述べ、今回の事態が日本の基幹産業に対する重大な脅威であるとの認識を強調した⁷。さらに、平将明デジタル大臣も、政府がOpenAIに「オプトイン」方式への変更を要請したこと、および権利侵害コンテンツの削除要請メカニズムの実装を求め、OpenAIが後者(削除要請)に応じたことを明らかにしている²⁵。

この日本政府による迅速かつ高レベルでの介入³は、単なる著作権侵害(これは画像生成AIの登場以来、常に存在した問題)によって引き起こされたものではない。それは、OpenAIが「米国IPは保護し、日本IPは保護しない」⁶という、明確な「二重基準」を(意図的か否かにかかわらず)露呈したことへの、文化的・経済的な主権の危機感と「不公平感」³によって引き起こされた、政治的な反応であった。

これはOpenAIの重大な戦略的誤算であったと言える。OpenAIは、最大の訴訟リスクを抱える米国内の主要スタジオ(ディズニー等)²⁶に対しては、訴訟回避のために事前ブロックという予防策を講じた⁶。しかし、世界第2位の音楽市場であり、アニメ・ゲームIPの主要輸出国である日本市場の法的・文化的感受性を過小評価し、米国の「フェアユース」の延長線上で「オプトアウト」モデル³を適用しようとした。この戦略的、法的、文化的な誤算こそが、日本における官民一体の組織的抵抗³を招いた最大の要因である。

4. 日本の組織的抵抗:コンテンツ産業の統一戦線(2025年10月)

日本政府の介入と並行し、日本のコンテンツ産業界もまた、Sora 2問題に対して前例のない規模で組織的な対応を開始した。

4.1. サム・アルトマンCEOによる方針転換(10月4日)

日本での炎上³と、水面下での政府の動き(10月10日の発表以前からコンタクトは始まっていた)⁸を受け、OpenAIのサム・アルトマンCEOは10月4日、自身の個人ブログでSora 2の方針変更を発表するという迅速な対応を見せた⁹。

このブログでアルトマン氏は、権利者に対し「(実在の人物の)肖像権のオプトインモデルと同様の、より詳細な制御(granular control)」を提供し、キャラクターが使用された際には「収益分配(revenue share)」の仕組みを導入する計画を明らかにした⁹。

注目すべきは、アルトマン氏が特に「日本の注目すべき創造的アウトプット(remarkable creative output of Japan)」に言及し、「日本のユーザーとコンテンツの深いつながりに感銘を受けている」と述べた点である⁸。これは、今回の反発が日本市場に特有の深刻な問題であることをOpenAIが認識した証左であった。この発表後、SNS上ではSora 2で日本のキャラクターが生成されなくなった(ロックされるようになった)との報告が上がり始めた³。

4.2. CODA(コンテンツ海外流通促進機構)による要望書(10月27日)

しかし、アルトマン氏のブログ発表によっても、日本産業界の懸念は払拭されなかった。

10月28日、コンテンツ海外流通促進機構(CODA)は、10月27日付でOpenAIに対し要望書を提出したと発表した³。CODAは、講談社、集英社、スタジオジブリ、東映、東宝、任天堂、ソニー・ミュージックエンタテインメント、バンダイナムコフィルムワークスなど、日本の主要なコンテンツ企業36社(アニメ、出版、ゲーム、映画、音楽)が加盟する、海賊版対策と著作権保護を目的とした中核的団体である³。

CODAの要望は以下の2点に集約される³:

1. Sora 2の運用において、CODA会員社のコンテンツを無許諾で学習対象としないこと(=オプトインの要求)。
2. Sora 2の生成物に関する著作権侵害の申立て・相談に真摯に対応すること。

CODAは声明の中で、OpenAIが採用するオプトアウト方式について、日本の著作権制度においては

「事後的な異議申し立てによって侵害責任を免れる制度は存在しない」と明確に否定し、法的な立場を鮮明にした³。

4.3. 19団体共同声明(10月31日): 3原則の提示

日本の産業界による組織的対応は、10月31日に頂点に達した。講談社、KADOKAWA、小学館、スクウェア・エニックスなど大手出版社17社に加え、クリエイター側を代表する日本漫画家協会、およびアニメ業界を代表する日本動画協会が参加する、計19団体が共同声明を発表したのである³。

この声明は、単なるSora 2への抗議を超えて、今後の「生成AI時代」における創作と権利のあり方についての原則を提示するものであった。声明は「技術の進展を歓迎する」と前置きしつつ³、「文化的創造の持続可能性と技術革新の恩恵の両立」のために、AI事業者が厳守・実行すべき以下の3原則を突きつけた³:

1. 許諾の取得: 学習段階および生成・公表段階の両方において、著作権法の原則に沿って権利者の「必要な許諾を得る」こと(オプトイン)。
2. 透明性の確保: 「学習データの透明性」が担保されていること。
3. 対価の還元: 権利者が利用を許諾した場合、権利者へ「適正な対価還元」が行われること。

4.4. アルトマンCEOのブログへの懐疑的評価

Sora 2問題の収束を図ったはずのアルトマン氏の10月4日のブログ⁹は、この19団体の共同声明によって、その実効性と法的拘束力に強い疑念を呈される結果となった。

声明は、アルトマン氏の発表について「企業としての正式な方針なのかどうかは現時点で確認されていない」³と断じ、個人ブログでの表明を法的なコミットメントとは見なさない姿勢を明確にした。さらに、「『第二、第三の Sora 2』とも言うべき新たな生成AIが登場することも容易に予見される」³とし、OpenAI一個社の対応を超えた、業界全体のルール確立の必要性を訴えた。

この一連の動きは、シリコンバレー(OpenAI)の「まずローンチし、問題が起きたらCEOブログで迅速に対応する」⁹というアジャイルな開発・広報文化と、日本(CODA, 19団体)の「公式な書面(要望書)³と共同声明³に基づき、法的原則³を組織的に確認する」という重厚長大なコンセンサス・法的文化との間の、典型的な衝突(ミスマッチ)を示している。日本側は、アルトマン氏の「ブログ」を、自らが要求する法的拘束力のある「回答」とは見なしていないのである³。

日本のコンテンツ産業³は、アルトマンCEOのブログ⁹を「(炎上を鎮めるための)単なるリップサービス」と見なし、Sora 2の「二重基準」問題³によって得た交渉上の優位性を最大限に活用し、長年の

懸案であったAIの著作権問題(特に学習データの無断利用)について、業界統一の要求(オプトイン、透明性、対価)を突きつけるための「統一戦線」を形成した。Sora 2問題は、彼らにとって絶好の交渉カードとなったのである。

5. 法的核心論点：オプトイン vs オプトアウトと国際法の壁

Sora 2問題をめぐるOpenAIと日本産業界の対立は、単なるビジネスモデルの差を超え、AI開発の根幹に関わる法解釈の対立であり、その射程は国際条約にまで及ぶ。

5.1. 日本の著作権法と「第30条の4」の限界

日本の著作権法は、著作物の利用に「原則として事前の許諾が必要」⁽³⁾とする「オプトイン」を基本としている。

この原則の例外として、2018年の著作権法改正で導入されたのが第30条の4である。この条文は、「情報解析(データ分析)」を目的とする場合、著作権者の許諾なく著作物を利用できると定めている³³。AI開発事業者は、AIの「学習」はこの「情報解析」に該当し、適法であると主張してきた。

しかし、Sora 2の登場はこの解釈の限界を露呈させた。CODA³と19団体³は、Sora 2のように「特定の著作物が出力として再現・類似生成されている状況」³においては、もはや「情報解析」という目的の範囲を逸脱していると主張する。そのような類似的出力が可能である以上、そのAIの学習過程(入力)で行われた複製行為そのものが、著作権(複製権)の侵害に該当し得る、というのが日本側のロジックである³。

5.2. WIPO著作権条約とベルヌ条約の解釈

19団体の共同声明は、オプトアウト方式が「日本の著作権法のみならず、世界194カ国が加盟するWIPO(世界知的所有権機関)の著作権条約の原則にも反する」と、国際法を根拠に批判した³。

この主張の背景には、著作権に関する最も基本的な国際条約であるベルヌ条約(1886年)³⁴と、それをデジタル時代に対応させたWIPO著作権条約(1996年)がある。これらの条約は、著作者の基本的な権利として「複製権」(作品をコピーする権利)を定めている³⁴。

WIPO著作権条約に関する合意声明では、保護された著作物を「電子的媒体にデジタル形式で『保存(storage)』すること」は、ベルヌ条約第9条に定められた「複製」に該当すると明確に確認されている³⁴。

Sora 2問題をめぐる法的対立の核心は、この「複製」がいつ行われ、いつ著作権侵害が発生したか、という解釈の分岐点にある。

- OpenAI(米国型)の暗黙的ロジック: 侵害は「出力(Output)」段階で問題となる。学習(Input)段階でデータセットを作成するために著作物を「複製」³⁶し「保存(storage)」³⁴する行為は、米国の「フェアユース(Fair Use)」ドクトリン³⁶に基づき、AIという新たな表現を生み出す「変形的(transformative)」な利用であり、適法である可能性が高い、というものである。
- 日本産業界(大陸法型)のロジック: 侵害は「学習(Input)」段階で既に発生している³。学習データセットを作成するために著作物を「複製」し「保存」³⁴する行為自体が、WIPO条約³および日本の著作権法³における「複製権」の侵害である。Sora 2の出力がオリジナルに酷似している³ことは、その違法な学習(入力)が行われたことの動かぬ「証拠」に過ぎない、というものである。

もし、日本産業界のロジック(学習=侵害)が国際的な司法判断で主流となつた場合³⁴、インターネット全体をスクレイピングして学習する¹¹という、現在の主要な生成AIの開発モデルそのものが法的・経済的に存立不可能になる。Sora 2問題は、この「AIの存立危機」³⁴とも呼べる、根本的な法解釈をめぐる世界的な闘争の号砲となつたと言える。

6. グローバルな規制と市場の反応

Sora 2への反発は日本に限定されたものではなく、各国の規制当局や業界団体も独自の対応を迫られている。

6.1. 米国: ハリウッドの抵抗と米国著作権局のスタンス

米国内でも、Sora 2のオプトアウト方針⁴は、特にクリエイティブ産業から強い反発を受けた。

米国俳優組合(SAG-AFTRA)は、オプトアウトモデルが「我々の業界全体の経済的基盤を脅かす」と強く非難した¹⁹。特に、著名な俳優であるブライアン・クラン斯顿氏(『ブレイキング・バッド』主演)の肖像と音声が、本人の許諾なくSora 2で生成された³⁸ことが発覚。クラン斯顿氏が「私自身だけでなく、すべてのパフォーマーの仕事とアイデンティティが悪用されることに深い懸念を抱いている」³⁹と表明したことを受け、SAG-AFTRAとOpenAIは、Sora 2における肖像権保護のための公式な協議

を開始する事態となつた³⁸。

一方で、米国の法制度は複雑な側面を持つ。米国著作権局(U.S. Copyright Office)は、Sora 2問題が起きる以前から、AIに関する見解を明確にしている。それによれば、「人間の十分な創作的寄与」がなく、単なるプロンプトの入力によってAIが自律的に生成した出力物(Sora 2の動画などがこれに該当する)は、著作権保護の対象にならない(uncopyrightable)⁴¹ というのが一貫した立場である。

この見解は、AIの「学習(入力)」の適法性(フェアユース)³⁶ については司法判断待ちとしつつ、AIの「出力(Sora 2の動画)」には著作権が生じない⁴¹とする、「出口」の議論に焦点を当てている。これは、Sora 2で動画を作った「ユーザー」は、その動画の著作権を主張できないことを意味する。対照的に、日本の産業界³ は、AIの「学習(入力)」そのものが著作権侵害である²⁹ とする「入口」の議論に焦点を当てており、日米間で議論の重点が異なっている。

6.2. EU: EU AI法が課す「学習データの透明性義務」

AI規制において世界をリードするのは欧州連合(EU)である。2025年8月から主要な規定が施行された「EU AI法(EU AI Act)」は、Sora 2問題において決定的な役割を果たす可能性がある⁴³。

EU AI法は、Sora 2のような汎用AI(GPAI)モデルの提供者に対し、AIの学習に用いた「著作権データの概要を(十分に詳細に)要約して公開すること」を法的に義務付けている¹⁰。

この「透明性義務」の強力な点は、その域外適用にある。AI提供者がEU市場で事業を行う限り、たとえAIの学習がEU域外(例えば米国)で行われたとしても、この透明性義務は適用される⁴⁴。

EU AI法のこの規定は、Sora 2問題における「ゲームチェンジャー」となり得る。これが厳格に適用されれば、OpenAIは、日本(CODA)や米国(SAG-AFTRA)を含む全世界の権利者に対し、自らの学習データを(間接的に)開示せざるを得なくなる。これは、権利者側が著作権侵害訴訟を起こすために必要だった「証拠開示(Discovery)」⁴⁷ をEU法が事実上強制することを意味し、OpenAIを世界的な大規模訴訟のリスクに晒すことになるからである。

表1: AI学習データに関する主要国の法規制比較(日・米・EU)

法域 (Jurisdiction)	主要法規・原則 (Key Regulation/Principle)	AI学習(入力) のデフォルトスタンス (Default)	AI提供者への 主要義務 (Key Provider)	関連資料 (Snippets)
----------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------	--------------------

	(inciple)	Stance on Training)	Obligations)	
日本 (Japan)	著作権法(事前許諾の原則)著作権法第30条の4	原則違法(事前許諾が必要)。「情報解析」(30条の4)の例外規定があるが、Sora 2のような類似的出力を行う場合は適用外の可能性が高い。	権利者からのオプトイン(事前許諾)の取得。(産業界の要求)	[3, 3, 5, 30, 33]
米国 (USA)	フェアユース(公正利用)の法理	適法である可能性が高い(変形的利用)。ただし、訴訟が多発しており、最終的な司法判断は未確定。	特になし(訴訟リスクへの個別対応)。(ただし、AI生成物自体の著作権は認められない)	[36, 41, 42]
欧州連合 (EU)	EU AI法著作権指令(DSM)	条件付きで適法(TDM例外)。ただし権利者は「オプトアウト」の権利を留保できる。	学習データの透明性義務。学習に使用した著作権データの「詳細な概要」を公開しなければならない。	[10, 43, 44, 45, 47, 73]

7. Sora 2 肯定論: 創造性の民主化と経済的恩恵

Sora 2をめぐる議論は、著作権侵害の側面に留まらない。その革新的な技術がもたらすポジティブな側面、すなわち「創造性の民主化」と経済的恩恵についても評価する必要がある。

7.1. OpenAIのビジョン: 創造性の拡張とAGI

OpenAIの公式なミッションは「人工一般知能(AGI)が全人類に利益をもたらすようにする」ことである⁴⁸。この壮大なビジョンの中で、Sora 2は「ストーリーテリングと創造的表現のためのツールキットを拡張する」¹ための重要なステップと位置づけられている。サム・アルトマンCEOは、これを「創造性のためのChatGPT」モーメントと呼び、アイデアから実行までのプロセスを劇的に短縮するツールとして提示している⁴⁹。

7.2. 経済的恩恵:コスト破壊と市場の拡大

Sora 2の導入がもたらす最も直接的な恩恵は、映像制作における劇的なコストと時間の削減である⁵⁰。

従来、高品質な映像制作には、高価な撮影機材、専門スタッフ(監督、カメラマン、編集者)、俳優、そして複雑なCGI技術が必要であり、莫大な予算が不可欠であった⁵¹。Sora 2は、これらのリソースを持たないインディーズ映画制作者⁵¹、小規模事業者⁵²、あるいは個人のクリエイターに対し、テキストプロンプト一つで高品質な映像を安価に(あるいは無料で)制作する手段を提供する⁵⁰。

特にマーケティング分野では、Sora 2はラピッドプロトタイピング・ツールとして絶大な威力を発揮する。多様なパターンの広告クリエイティブを瞬時に生成し、TikTokやInstagramなどのプラットフォームでA/Bテストを迅速かつ大量に行うことが可能になる⁵²。

7.3. 新たな文化の創出:「カメオ」機能とリミックス文化

Sora 2は単なる制作ツールではなく、TikTokスタイルのソーシャル・フィード(Discovery Feed)を持つプラットフォームとして設計されている⁵⁴。

その戦略の中核をなすのが「カメオ(Cameo)」機能である⁵⁴。これは、ユーザーが自身の肖像(顔、体型)と音声(声の特徴、話し方)をSora 2アプリで短時間記録することにより、AIに自身の「似姿(likeness)」を学習させ、生成されるAI動画内に「出演」させることを可能にする機能である⁵⁴。ユーザーは、自分のカメオを誰が使用できるか(自分のみ、承認した人、全員など)を制御できる⁵⁴。

このカメオ機能は、アルトマンCEOが(著作権問題を念頭に)提唱する「インタラクティブ・ファン・フィクション」⁹という新しいエンゲージメントの形であり、「創造性の民主化」⁴¹を象徴する機能と位置づけられている。

しかし、この「カメオ」機能は、単なる新機能ではなく、OpenAIの高度な法的・PR的戦略であったと考えられる。

第一に、「人間の肖像権」に対しては、ユーザーが自ら動画と音声を記録する「明確なオプトイン(consent-based likeness)」モデルを採用した⁵⁴。

第二に、この「オプトイン」モデルの存在を盾にすることで、「(人間ではない)キャラクターの著作権」に対しては、従来通りの「オプトアウト」モデル³を適用するという、非対称なアプローチの正当性を暗に主張しようとした。

だが、この戦略(「人物の肖像」はオプトイン、「創作されたキャラクター」はオプトアウト)は、ブライアン・クランストン氏³⁸のような実在の俳優や、アニメ³のように人格と強く結びついたキャラクターIPを持つ産業(SAG-AFTRA¹⁹, CODA³)からの即時の反発を買い、事実上破綻した。権利者側は、「人物の肖像」と「キャラクターのIP」を区別しない、統一された「オプトイン」を要求しているからである。

8. Sora 2 否定論：経済的・倫理的リスク

Sora 2がもたらすのは恩恵だけではない。その破壊的な能力は、深刻な経済的・倫理的リスクを内包している。

8.1. 経済的脅威：クリエイティブ産業における雇用破壊

肯定論としての「コスト削減」⁵³は、既存のクリエイターにとっては「雇用破壊」を意味する。Sora 2は、クリエイティブ産業の雇用に対する直接的かつ重大な脅威と見なされている¹⁸。

ハリウッドの組合(アニメーターや漫画家を含む)が委託した2024年の調査(Sora 2発表前)では、AIを導入した映画会社の75%が既に雇用を削減または統合しており、2026年までに米国のエンターテイメント産業において10万人以上の雇用がAIによって混乱する(disrupted)と推定されている¹⁸。Sora 2の登場は、この傾向を決定的に加速させる。

アニメーター⁵⁹や映画制作者⁶¹のコミュニティでは、AIによる職の代替への「神経質で混乱した(nervous and confused)」⁶¹感情が渦巻いている。

8.2. 倫理的・社会的脅威：ディープフェイクと偽情報の高度化

Sora 2の持つ高度なアリズム¹と音声同期能力²は、悪意のあるディープフェイクや偽情報の生成

レベルを、一般市民が識別不可能な領域へと引き上げる⁶²。

特に懸念されるのは、選挙への影響である。政治家が実際には発言していないことを語るリアルなディープフェイク動画が世論を操作し、民主的プロセスそのものを脅かすリスクが、各国のサイバーセキュリティ機関によって警告されている⁶⁴。研究によれば、ディープフェイク動画はテキストベースの偽ニュースと比較し、より鮮明で説得力があり、信頼されやすく、ソーシャルメディアで共有されやすい傾向がある⁶⁵。

OpenAIは対策として、C2PA(デジタルコンテンツの来歴を証明する技術標準)メタデータの埋め込み⁵⁶や、可視的な透かし(ウォーターマーク)⁴を導入している。しかし、これらの防御策は脆弱である。Sora 2のローンチ後わずか1週間で、この可視透かしを除去するサードパーティ製のプログラムが登場したことが報告されている⁴。

8.3. 文化的脅威:「AIスロップ」の氾濫と精神的影響

Sora 2のようなツールが普及することで、人間の創造性を介さず、アルゴリズムによってエンゲージメントが最大化されるよう最適化された、低品質で無味乾燥なコンテンツ、いわゆる「AIスロップ(AI Slop)」がインターネット上に氾濫することへの強い懸念がある⁶⁶。

専門家からは、「欲しいコンテンツが何でも瞬時に手に入る」状態は、人間の「満足感(fulfillment)」や能動的な趣味への関与を破壊し、結果としてうつ病やプラットフォームへの依存症(addictive use)⁶²を引き起こすのではないかという、精神的影響への警鐘も鳴らされている⁶⁸。

8.4. システミックな欠陥:著作権フィルターの回避可能性

Sora 2問題の核心にある著作権侵害について、OpenAIはアルトマン氏のブログ⁹以降、日本のキャラクターネーム(「悟空」や「ピカチュウ」など)をプロンプトとして入力するとブロックする措置を講じた³。

しかし、この対策は、モデルの根本的な修正ではなく、対症療法的なフィルターに過ぎないことが露呈している。この著作権フィルターは、特定の手法によって容易に回避(バイパス)可能である⁶⁹。Redditユーザーによって実証されたその手法は、以下の通りである⁶⁹:

1. 公式画像ではない、キャラクターのファンアートやフィギュア、マーチャンダイズの画像をアップロードする。
2. プロンプト内で、そのキャラクターに全く無関係な名前(例:悟空を「Jimbo」、サイタマを「Alex」と呼ぶ)を割り当てる。
3. その偽名を使って、目的のシチュエーションを指示する(例:「Jimboという名のこのキャラクター

がスーパーマリオ64の世界にいる」)。

この手法により、ブロックされているはずのキャラクター(例:「スーパーマリオ64の中の悟空」)の動画生成に成功したと報告されている⁶⁹。

このバイパス手法の存在は、OpenAIが実装した「修正」が、モデルの根本的な再学習(つまり、違法に学習したデータの削除)ではなく、プロンプト・レベルでの「テキスト・フィルター」⁶⁹に過ぎないことを技術的に暴露している。モデルの内部(ニューラルネットワークの重み)には、依然として悟空やマリオのデータが、シミュレーション可能な「ルール」として内在し続けているのである。

このシステム的欠陥⁶⁹は、日本の19団体がアルトマンCEOのブログ⁹を「企業としての正式な方針か確認できない」³と懐疑的に見たことが、単なる交渉術ではなく、技術的にも正しかったことを裏付けている。キャラクターネームをブロックするだけの対症療法では、日本側が要求する「学習データからの除外」(オプトイン)³と「学習データの透明性」³という根本的な問題は、何一つ解決していないことが証明されたからである。

9. 総括と今後の展望:イノベーションと権利保護の新たな均衡点

9.1. 未解決の対立:沈黙するOpenAI

CODA³および19団体³による10月下旬(27日、31日)の公式な要求(オプトイン、透明性、対価)¹⁷に対し、OpenAIは11月に入って以降、公式な声明⁷⁰やブログでの具体的な回答を行っておらず、日本産業界との対立は「未解決」のままである⁵。

現状、OpenAIが提示した解決策(アルトマン氏のブログ)である「より詳細な制御」と「収益分配」⁹は、日本側が要求する「学習段階からの完全なオプトイン」³と「学習データの透明化」³とは依然として大きな隔たりがある。

9.2. AI開発モデルの分岐:「ライセンス・モデル」への必然的移行

Sora 2問題は、AI開発における「無法なスクレイピング時代」の終わりを象徴している。

EU AI法による「透明性義務」¹⁰ という規制の圧力と、日本市場³ やハリウッド(SAG-AFTRA)¹⁹ という巨大コンテンツ市場からの「オプトイン」要求という、二正面作戦に直面した今、OpenAI(およびGoogleやMetaなどの競合他社)は、高品質なコンテンツをAIに学習させるための「ライセンス・フレームワーク」の構築へと、戦略を転換せざるを得ない状況に追い込まれている。

9.3. 最終的結論と今後の予測

Sora 2問題は、今後のAI開発モデルの二極化を決定的に加速させると予測される。

第一の道は、**「スタジオ・モデル」**である。これは、OpenAIがアルトマン氏のブログ⁹で示唆したように、コンテンツホルダー(スタジオジブリ、ディズニー、出版社、SAG-AFTRAなど)と正式にライセンス契約と収益分配(Revenue Share)の枠組みを構築し、クリーンで高品質なデータを学習させた「公式AI」を開発する道である。これは権利者公認の「インタラクティブ・ファン・フィクション」⁹ツールとして、新たな市場を創出する可能性がある。

第二の道は、**「スロップ・モデル」**である。これは、法的グレーゾーン(あるいは規制の緩い国)で無許諾のスクレイピングを続け、著作権フィルターの回避⁶⁹を繰り返すAIである。これらのAIは、低品質な「AIスロップ」⁶⁷を生成し続けるが、主要なコンテンツ市場(日・米・欧)からは規制と訴訟によって排除されていくだろう。

Sora 2の失敗の本質は、最高品質の「スタジオ・モデル」のツール(高度な物理シミュレーション)²を、無許諾の「スロップ・モデル」のデータ(日本のアニメIPの無断学習)³で構築しようとした点にある。

日本政府と産業界の迅速かつ統一された抵抗³は、OpenAIに対し、「スタジオ・モデル」と「スロップ・モデル」のどちらの道を選ぶのか、その「選択」を世界で初めて明確に突きつけた、歴史的な事例として記録されるであろう。

引用文献

1. Sora 2 System Card | OpenAI, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://openai.com/index/sora-2-system-card/>
2. OpenAI's Sora 2: A New Chapter in Generative Video - Medium, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://medium.com/@itxcrusher/sora-2-deep-dive-capabilities-use-cases-risks-strategy-b718b95ee516>
3. 251031_news130.pdf
4. Sora (text-to-video model) - Wikipedia, 11月 5, 2025にアクセス、
[https://en.wikipedia.org/wiki/Sora_\(text-to-video_model\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Sora_(text-to-video_model))

5. Ghibli & Bandai Lead Charge Against OpenAI Over Sora 2 Training Data, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.androidheadlines.com/2025/11/ghibli-bandai-coda-openai-sora-2-japanese-content-demand-stop-training-ai.html>
6. “Why are Disney and Marvel protected, but Japanese IPs aren't?” OpenAI's Sora 2 sparks controversy in Japan over infringement concerns - AUTOMATON WEST, 11月 5, 2025にアクセス。
<https://automaton-media.com/en/news/why-are-disney-and-marvel-protected-but-japanese-ips-arent-openais-sora-2-sparks-controversy-in-japan-over-infringement-concerns/>
7. Japan asks OpenAI to stop infringing copyrights in Sora 2, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.comicsbeat.com/japanese-government-requests-sora-2-copyright-infringement/>
8. Japan asks OpenAI to keep Sora 2's hands off anime IP - The Register, 11月 5, 2025にアクセス、
https://www.theregister.com/2025/10/15/japan_openai_copyrighted_anime/
9. Sam Altman's Blog, 11月 5, 2025にアクセス、<https://blog.samaltman.com/>
10. EU AI Act: first regulation on artificial intelligence | Topics - European Parliament, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.europarl.europa.eu/topics/en/article/20230601STO93804/eu-ai-act-first-regulation-on-artificial-intelligence>
11. Sora 2 System Card | OpenAI, 11月 5, 2025にアクセス、
https://cdn.openai.com/pdf/50d5973c-c4ff-4c2d-986f-c72b5d0ff069/sora_2_system_card.pdf
12. How OpenAI Built Sora 2 (2025): Training, Data, and Model Design Insights - Skywork.ai, 11月 5, 2025にアクセス。
<https://skywork.ai/blog/openai-sora-2-2025-ultimate-guide-training-model-design/>
13. OpenAI Launches Sora 2 API for Developers at DevDay 2025, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://mlq.ai/news/openai-launches-sora-2-api-for-developers-at-devday-2025/>
14. Sora 2 vs Sora 1: Is OpenAI's New Video Model a True Leap Forward? - Sider, 11月 5, 2025にアクセス。
<https://sider.ai/blog/ai-tools/sora-2-vs-sora-1-is-openai-s-new-video-model-a-true-leap-forward>
15. Sora 2 vs Sora 1: A Detailed Breakdown of Five Key Improvements - skywork ai, 11月 5, 2025にアクセス。
<https://skywork.ai/blog/sora-2-vs-sora-1-a-detailed-breakdown-of-five-key-improvements/>
16. The fact that SORA is not just generating videos, it's simulating physical reality and recording the result, seems to have escaped people's summary understanding of the magnitude of what's just been unveiled : r/OpenAI - Reddit, 11月 5, 2025にアクセス。
https://www.reddit.com/r/OpenAI/comments/1ascklf/the_fact_that_sora_is_not_just_generating_videos/

17. OpenAI Faces Copyright Violation Risk For Sora 2 Training On Studio Ghibli, Japanese Artwork, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.ndtvprofit.com/technology/openai-faces-copyright-violation-risk-for-sora-2-training-on-studio-ghibli-japanese-artwork>
18. Impact of OpenAI's Sora on Creative Industries - Brookings Institution, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.brookings.edu/articles/how-openais-sora-hurts-the-creative-industries/>
19. SAG-AFTRA's Sean Astin Condemns Sora 2's 'Opt-Out' Copyright Model: 'Threatens the Economic Foundation of Our Entire Industry', 11月 5, 2025にアクセス、<https://ca.news.yahoo.com/sag-aftra-sean-astin-condemns-010541970.html>
20. Studio Ghibli And Japanese Game Publishers Demand OpenAI Stop Using Their Content In Sora 2, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.gamespot.com/articles/studio-ghibli-and-japanese-game-publishers-demand-openai-stop-using-their-content-in-sora-2/1100-6535845/>
21. Sora 2 is now blocking generation of any all "anthropomorphic" content : r/OpenAI - Reddit, 11月 5, 2025にアクセス、
https://www.reddit.com/r/OpenAI/comments/1nxjtkm/sora_2_is_now_blocking_generation_of_any_all/
22. OpenAI promises more 'granular control' to copyright owners after Sora 2 generates videos of popular characters - The Guardian, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.theguardian.com/technology/2025/oct/06/open-ai-promises-more-granular-control-copyright-owners-sora-2-generates-videos-popular-characters>
23. Japan Urges OpenAI to Address Copyright Issues - Adnkronos English, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://english.adnkronos.com/2025/10/10/japan-urges-openai-to-address-copyright-issues/>
24. Japanese Government Calls on Sora 2 Maker OpenAI to Refrain From Copyright Infringement, Says Characters From Manga and Anime Are 'Irreplaceable Treasures' That Japan Boasts to the World - IGN, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.ign.com/articles/japanese-government-calls-on-sora-2-maker-openai-to-refrain-from-copyright-infringement-says-characters-from-manga-and-anime-are-irreplaceable-treasures-that-japan-boasts-to-the-world>
25. Japan's government asks OpenAI to seek permission amid Sora 2 copyright concerns, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.japantimes.co.jp/business/2025/10/16/companies/japan-opt-in-mode-l-sora2/>
26. OpenAI's Sora 2 Won't Touch Disney (But Google Will) | by Mike ..., 11月 5, 2025にアクセス、
<https://medium.com/@todasco/openais-sora-2-won-t-touch-disney-but-google-will-6f93d18cb59f>
27. Sora update #1 - Sam Altman, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://blog.samaltman.com/sora-update-number-1>
28. Sora, Not Sorry: OpenAI Backtracks on Opt-Out Copyright Policy, 11月 5, 2025にアクセス、

- <https://copyrightlately.com/openai-backtracks-sora-opt-out-copyright-policy/>
29. Japanese creators ask OpenAI to respect copyright following launch of Sora 2, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.gmanetwork.com/news/scitech/content/964708/japan-coda-openai-sora-2-copyright-issues/story/>
30. Japanese Organization Representing the Likes of Bandai Namco, Square Enix, and Studio Ghibli Demands OpenAI Ceases Unauthorized Training of Sora 2 on Their IPs, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.ign.com/articles/japanese-organization-representing-the-likes-of-bandai-namco-square-enix-and-studio-ghibli-demands-openai-ceases-unauthorized-training-of-sora-2-on-their-ips>
31. Sony Stands with Japan's Creators in AI Copyright Crackdown | Push Square, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.pushsquare.com/news/2025/10/sony-stands-with-japans-creators-in-ai-copyright-crackdown>
32. 18 Anime, Manga Companies Publish Joint Statement Criticizing Use of Generative AI With Sora2 Program - News, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.animenewsnetwork.com/news/2025-10-31/18-anime-manga-companies-publish-joint-statement-criticizing-use-of-generative-ai-with-sora2-program.230524>
33. Sora 2 May Spark Debate on Anime and Copyright in Japan | Abe ..., 11月 5, 2025にアクセス、<https://www.aiklaw.co.jp/en/whatsnewip/2025/10/14/5828/>
34. Copyright and AI training data—transparency to the rescue? | Journal of Intellectual Property Law & Practice | Oxford Academic, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://academic.oup.com/jiplp/article/20/3/182/7922541>
35. Copyright, AI Training, and LLMs: The Path Forward | CCC, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.copyright.com/blog/copyright-ai-training-and-llms-the-path-forward/>
36. Is AI training fair use of copyright works? - Gilbert + Tobin, 11月 5, 2025にアクセス、<https://www.gtlaw.com.au/insights/is-ai-training-fair-use-of-copyright-works>
37. SAG-AFTRA's Sean Astin Condemns Sora 2's 'Opt-Out' Copyright Model - TheWrap, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.thewrap.com/sag-aftra-sean-astin-condemns-sora-2/>
38. SAG-AFTRA, OpenAI, Bryan Cranston Collaborate to Ensure Voice and Likeness Protections in Sora 2, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.sagaftra.org/sag-aftra-openai-bryan-cranston-collaborate-ensure-voice-and-likeness-protections-sora-2>
39. OpenAI Works With SAG-AFTRA, Agencies on Sora 2 Guardrails After Pressure From Bryan Cranston - TheWrap, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.thewrap.com/bryan-cranston-open-ai-sora-2-guardrails/>
40. Bryan Cranston thanks OpenAI for cracking down on Sora 2 deepfakes - The Guardian, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.theguardian.com/technology/2025/oct/21/bryan-cranston-sora-2-openai>
41. Are Sora 2 and other AI video tools risky to use? Here's what a legal scholar says |

ZDNET, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.zdnet.com/article/are-sora-2-and-other-ai-video-tools-risky-to-use-heres-what-a-legal-scholar-said/>

42. Copyright Office Releases Part 2 of Artificial Intelligence Report, 11月 5, 2025にアクセス、<https://www.copyright.gov/newsnet/2025/1060.html>
43. AI Act | Shaping Europe's digital future - European Union, 11月 5, 2025にアクセス、<https://digital-strategy.ec.europa.eu/en/policies/regulatory-framework-ai>
44. The EU AI Act and copyrights compliance - IAPP, 11月 5, 2025にアクセス、<https://iapp.org/news/a/the-eu-ai-act-and-copyrights-compliance>
45. High-level summary of the AI Act | EU Artificial Intelligence Act, 11月 5, 2025にアクセス、<https://artificialintelligenceact.eu/high-level-summary/>
46. Copyright and Artificial Intelligence, Part 3: Generative AI Training Pre-Publication Version, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.copyright.gov/ai/Copyright-and-Artificial-Intelligence-Part-3-Generative-AI-Training-Report-Pre-Publication-Version.pdf>
47. As transparency obligations on AI providers increase in the EU, will infringement claims and even a collecting society approach follow? | DLA Piper, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.dlapiper.com/en/insights/publications/2025/01/as-transparency-obligations-on-ai-providers-increase-in-the-eu>
48. About - OpenAI, 11月 5, 2025にアクセス、<https://openai.com/about/>
49. Sora 2 - Sam Altman, 11月 5, 2025にアクセス、<https://blog.samaltman.com/sora-2>
50. Sora 2 AI: Benefits, Drawbacks, and is It Free? - Tech.co, 11月 5, 2025にアクセス、<https://tech.co/news/what-is-sora-2-get-for-free>
51. What Sora (AI Video) Means For Indie Filmmakers - Noam Kroll, 11月 5, 2025にアクセス、<https://noamkroll.com/what-sora-ai-video-means-for-indie-filmmakers/>
52. Who Should Use Sora 2: Key Groups to Benefit - Skywork.ai, 11月 5, 2025にアクセス、<https://skywork.ai/blog/who-should-use-sora-2-key-groups-to-benefit/>
53. The Sora 2 Revolution: How OpenAI Will Change Filmmaking Forever - CapCut, 11月 5, 2025にアクセス、<https://www.capcut.com/resource/sora-2>
54. OpenAI Sora 2: Complete Guide + Prompts + Cameos + Physics (October 2025), 11月 5, 2025にアクセス、
<https://superprompt.com/blog/openai-sora-2-complete-guide>
55. OpenAI's Sora Is Now Available as an Android App: Everything New Inside - CNET, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.cnet.com/tech/services-and-software/openais-sora-is-now-available-as-an-android-app-everything-new-inside/>
56. Launching Sora responsibly - OpenAI, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://openai.com/index/launching-sora-responsibly/>
57. OpenAI IP promises ring hollow to Sora losers - The Register, 11月 5, 2025にアクセス、https://www.theregister.com/2025/10/06/openai_makes_empty_promises_to/
58. Sora 2 Explained: OpenAI's AI Video Model & TikTok-Style App - IntuitionLabs, 11月 5, 2025にアクセス、<https://intuitionlabs.ai/articles/openai-sora-2-video-app>
59. What to professional animators think of Sora 2 AI (for animation) : r/animationcareer - Reddit, 11月 5, 2025にアクセス、

https://www.reddit.com/r/animationcareer/comments/1npsc85/what_to_professional_animators_think_of_sora_2_ai/

60. Will Sora Replace Animators? - Myth Studio, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.mythstudio.co.uk/articles/will-sora-replace-animators>
61. General thoughts on the Sora 2 app and how it impacts filmmakers - Reddit, 11月 5, 2025にアクセス、
https://www.reddit.com/r/Filmmakers/comments/1o0dfvl/general_thoughts_on_the_sora_2_app_and_how_it/
62. Safe AI for Children Alliance issues urgent guidance on Sora 2 risks for schools and parents, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.edtechinnovationhub.com/news/safe-ai-for-children-alliance-issues-urgent-guidance-on-sora-2-risks-for-schools-and-parents>
63. OpenAI's Sora and Google's Veo 2 in Action: A Narrative Review of Artificial Intelligence-driven Video Generation Models Transforming Healthcare - NIH, 11月 5, 2025にアクセス、<https://pmc.ncbi.nlm.nih.gov/articles/PMC11741145/>
64. Full article: Generative AI and deepfakes: a human rights approach to tackling harmful content - Taylor & Francis Online, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/13600869.2024.2324540>
65. Artificial Intelligence, Deepfakes, and Disinformation: A Primer - RAND, 11月 5, 2025にアクセス、
https://www.rand.org/content/dam/rand/pubs/perspectives/PEA1000/PEA1043-1/RAND_PEA1043-1.pdf
66. My journey into the artificial world of Sora 2 - Poynter, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.poynter.org/tech-tools/2025/openai-sora-2-deepfake-videos-disinformation/>
67. Hank Green just posted a 3-minute anti-AI rant about Sora 2 : r/singularity - Reddit, 11月 5, 2025にアクセス、
https://www.reddit.com/r/singularity/comments/1o0xrps/hank_green_just_posted_a_3minute_antiai_rant/
68. OpenAI's Sora 2 is an unholy abomination : r/technology - Reddit, 11月 5, 2025にアクセス、
https://www.reddit.com/r/technology/comments/1ny0tds/openais_sora_2_is_an_unholy_abomination/
69. Found a working way to bypass the new sora 2 copyright restrictions ..., 11月 5, 2025にアクセス、
https://www.reddit.com/r/SoraAi/comments/1nxr5vj/found_a_working_way_to_bypass_the_new_sora_2/
70. OpenAI News, 11月 5, 2025にアクセス、<https://openai.com/news/>
71. Bandai Namco, Square Enix And Other Japanese Publishers Aren't Happy About OpenAI's Sora 2 Generative AI Tool, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://www.nintendolife.com/news/2025/11/bandai-namco-square-enix-and-other-japanese-publishers-arent-happy-about-openais-sora-2-generative-ai-tool>
72. Studio Ghibli Demands That OpenAI Stop Ripping Off Its Work, 11月 5, 2025にアクセス、
<https://futurism.com/artificial-intelligence/studio-ghibli-openai-stop-ripping-work>